

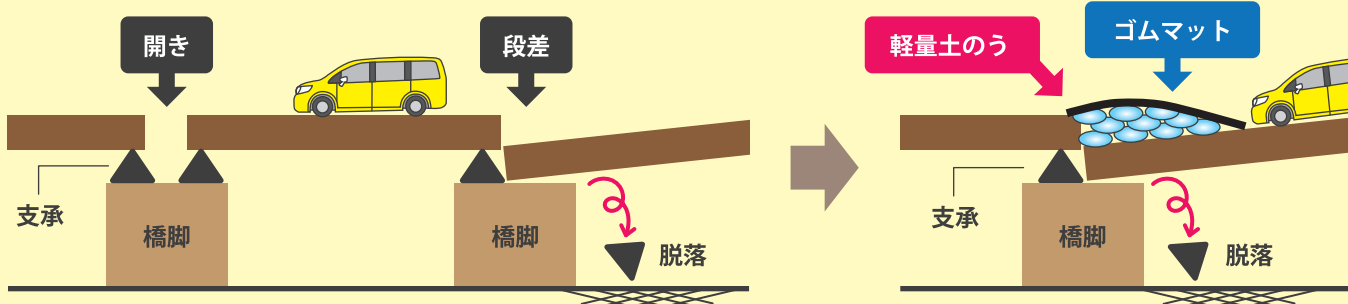


## 軽量段差修正材 (軽量土のう)

地震によって橋梁の伸縮継手部に損傷が発生し、路面に段差が生じた場合、車両の通行ができなくなります。緊急輸送道路を早期に確保するためには、路面に生じた段差を速やかに修正し、滞留した車両を排除、緊急車両の通行帯を確保する「道路啓開」を迅速に実施する必要があります。

運搬性・作業性に優れ、大型車の通行にも耐えられる軽量段差修正材 (軽量土のう) を路面段差の修正に用いることにより、より迅速に「道路啓開」を実施することが可能となります。

### ■ 橋梁における被害状況と段差修正のイメージ



### ■ 従来の段差修正材との比較

従来  
土詰め土のう  
(土)  
約 25kg



※ 重量は土のう 1袋 (約15ℓ) あたりの重量

軽量段差修正材 (軽量土のう)  
『ポラスα<sup>®</sup>』路面段差用  
(発泡ガラス)  
約 5.8kg



### ■ 段差修正のイメージ

軽量なFRP製渡し板 (F-Deck) と組み合わせて、橋梁の伸縮継手部に発生した段差と開きを修正したイメージ



## ■ 軽量段差修正材の車両通行性能確認

※ 首都高速道路(株)による性能確認試験の状況



## ■ 車両通過による体積変化率

製品名

体積変化率 (試験後 / 試験前)  
※ 試験前体積は15ℓ/袋とする

『ポラスα<sup>®</sup>』  
路面段差用

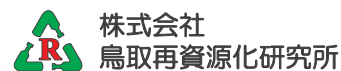
0.83

発泡ガラス系材料の中では  
目減りが一番少なく安定しています



## ■ 配備 (備蓄) のイメージ

例えば、軽量段差修正材 (軽量土のう) を耐候性フレコンパック (土のう50袋詰め) に詰めて、被災想定箇所付近の管理用地などに配備 (備蓄)



お問合せ先

